



金曽木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和8年度 9月号
台東区立金曽木小学校
校長 大木 毅
令和8年 8月31日

「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 自分のよさを伸ばす子」

『宿泊学習を生かして』

校長 大木 毅

45日間の夏休みも、間もなく終わろうとしています。有意義で充実した夏休みを過ごせたことでしょう。英気を養った分をこれから始まる2学期の諸活動に生かして行ってほしいです。この頃の暑さは尋常ではありません。「酷暑日」という気象用語も使われるようになりました。9月を迎えてもこの暑さは続きそうです。子供たちも含めて、保護者や地域の皆様もどうぞご自愛なさってください。

さて、長い夏休みの間の7月後半に、4年生が館山臨海学園に、6年生が日光林間学園に行っていました。今年度は、天候が事前に心配されたこともあったのですが、子供たちに天気の神様が応援してくれたようで、どちらも予定通りの運営を実施することができました。

毎回ですが、宿泊学習に行く前に子供たちに話をします。仲間と共に数日間を過ごす宿泊学習を通して、学んでほしいことや身に付けてほしいことを3点ほど伝えています。

○1点目【時間を守る】

集団生活をおくるうえで、大切なことは時間を意識することです。自分のペースを維持することも大切ですが、決められた時間を有効に使うためにも常に先々を考えて行動することが必要となります。「5分前行動」を常に意識するように伝えています。

○2点目【自分も友達も大切にすること】

自分を大切にできる人は、友達や仲間も大切にできます。友達のことを考え、思いやりのもてる子は自分を生かすことができます。宿舎での集団生活では、自分の意思や考えだけではうまく過ごせません。自分自身を生かしながら、周りのことを考え、どのように折り合いを付けて生活するか考えてほしいです。

○3点目【感謝の気持ちを忘れない】

元気に安全に楽しく集団生活が送れるのは、引率の先生方・宿舎でのスタッフの方・バス会社の方・安全に元気に帰ってくるのを楽しみにしている家族の方々など多くの方々のおかげです。周りの皆様に支えられていると感じ、「ありがとうございます」の感謝の気持ちを持ちましょう。

宿泊学習だけでなく、2学期以降の日々の学校生活にも生かせるよう指導してまいります。